

既存の無線アクセスシステム（2.4GHz帯、5GHz帯等）は、深山間部等(究極のブロードバンド・ゼロ地域)では、その周波数の特性により到達距離が短いことから、当該地域での無線伝送システム構築が高コストとなり、利用が進まない要因となっています。

このような地域においては、UHF帯による無線アクセスシステムが効果的と思われることから、ホワイトスペースを活用した広帯域無線伝送システムの無線技術について調査検討を行い、周波数有効利用の一層の促進を図ります。

- ・ 険しい山岳地域や沢沿い等複雑な地形に対応する特性を持つ周波数帯による無線システムが必要。
- ・ 対象は小規模集落が想定されるため、伝送する情報量（伝送速度）は比較的小さくてよい。

UHF帯ホワイトスペースを有効利用

条件に合った周波数特性を持つUHF帯のホワイトスペースによる実証試験を実施し、その結果を踏まえて…。

究極のブロードバンドゼロ世帯解消のための無線基盤整備と過疎地域のニーズに応えるアプリケーションの構築可能性を提言。

※想定される利活用アプリケーション

- ①独居老人等の見守りシステム
- ②災害危険個所の映像定点観測
- ③災害時迅速な非難誘導・出動体制
- ④有害獣による森林・農作物被害対策

地デジ放送のホワイトスペース

※放送用などある目的のために割り当てられているが、地理的条件や技術的条件によって他の目的にも利用可能な周波数。

